

終端形電力計

終端形電力計とは、擬似負荷と指示回路を設け、アンテナの代わりに無線送信機の出力を終端しながら電力を測定する装置です。

規格

周波数範囲	…… DC~1300MHz
測定電力	…… 15mW~300W
電力レンジ	…… 1~3レンジ
インピーダンス	…… 50Ω
電圧定在波比	…… 1.1~1.2以下
電力指示精度	…… フルスケールの±5~10%以内

取扱い上の注意

サーモフィルム方式は、過電力により検出素子が焼損する恐れがありますので、電力を入力する際には、十分注意してください。

ダイオード方式は、入力電力の波形歪により指示誤差を生ずるので、注意が必要です。また、周波数が数百MHz以上になると送信機と電力計を接続するケーブルにコネクタを取付けてありますが、この接続が悪いと大きな反射を生じ、指示に数十%におよぶ誤差を生じることがあるので、この点にも注意してください。

選択基準

周波数帯、測定電力の選択を行ってください。また、検波方式の違いにも着目してください。

- ダイオード方式
メータの応答性が良く、送信機の出力調整に向いています。
平均検波での実効値が指示値となる為、振幅成分のないFM変調の測定に向いています。
- サーモフィルム方式(熱電変換方式)
真の実効値指示になり、振幅成分のある変調にも対応しております。
メータの応答性は、ダイオード方式と比べると遅くなります。

使用例

